

議 事 録 確 認

職場環境改善諸要求に関する申し入れの交渉経過において、別紙のとおり確認した。

平成 30 年 2 月 10 日

東日本旅客鉄道株式会社大宮支社
総務部勤労担当部長 原 潔



東日本旅客鉄道労働組合大宮地方本部
業 務 部 長 高橋 孝



[別 紙]

《営業関係》

【那須塩原駅分会・小金井駅分会】

- (組 合) 輸送障害発生時に旅客がホーム上に滞留することが多く、社員への苦情が多く発生していることから、那須塩原駅及び小金井駅ホームに上屋を全面設置すること。特に小金井駅のグリーン車両停車位置に上屋を早急に設置すること。
- (会 社) 現行、那須塩原駅において上家を整備する計画はないが、引続き状況を把握していく考えである。また、小金井駅の状況については承知しているが、現行上屋を整備する計画はなく、停止位置の変更も困難である。

【那須塩原駅分会】

- (組 合) 片岡駅の券売機が反射して画面が見えにくいと苦情を受けていることから移設すること。今後は、季節による差異が生じないように対策を検討すること。
- (会 社) 片岡駅の券売機は移設が難しいことから、モニターの交換、輝度の調整を行い対応したところである。なお、今後も状況を把握していく考えである。

【小金井駅分会】

- (組 合) 寝室の老朽化により衛生状態が良くないことから、環境アクセスによる定期清掃の内容を充実させること。また、寝室の快適性向上のため、ベッドを二段ベッドからシングルベッドに変更すること。
- (会 社) 小金井駅の休養室については、作業ダイヤに清掃時間を設けているほか、環境アクセスによる清掃を追加することを検討している。また、2段ベッドについては、各担務において見習い勤務を指定した場合を考慮しているものである。

【宇都宮駅分会】

- (組 合) 本番事務室のコピー機が老朽化し、何度修繕しても改修されず、運転状況表や指令計画書を内勤事務室でコピーしていることから、早急に新品を設置すること。
- (会 社) 宇都宮駅のコピー機については、不具合が発生する都度修理をしてきたが、今年度中に置き換える予定である。
- (組 合) 新幹線ホーム車両在線時において、案内放送時にノイズが酷く聞き取りにくく的確な案内放送が出来ず、安全上の課題もあることから、放送設備を早急に改善すること。また、1番線ホーム事務室にあるモニターの視認性を向上させること。
- (会 社) 宇都宮駅新幹線ホームの放送設備については、引続き状況を把握し、必要により修繕を検討していく考えである。また、1番線ホーム事務室のモニターについては、カメラの調整を行ったところである。

【小山駅分会】

- (組 合) 男性寝室内を土足で利用している現状から床にカーペットを新設し、衛生的な環境整備を行うこと。
- (会 社) 現行、小山駅男性休養室の床をカーペット等に整備する計画はない。なお、通路等の汚損状況等については、必要により対策を検討する考えである。

【宇都宮線連合分会】

- (組 合) 古河駅含めた近隣駅にビューアルツテの設置がなく、旅客からの設置要望が多いことから、古河駅にビューアルツテを設置すること。
- (会 社) 古河駅における「VIEW ALTTE」（ビューアルツテ）の設置については株式会社ビューカードにおいて決定することとなる。なお、お客さまや社員の要望等については把握していく考えである。
- (組 合) 女性社員の増加に伴い、勤務作成等に配慮が必要なことから久喜駅の女性寝室を増設すること。また、異常時には外部宿泊施設の活用をすること。
- (会 社) 現行、久喜駅の女性休養室を増設する考えはない。なお、万一不足が生じた場合においては、必要な対応を行う考えである。
- (組 合) 白岡駅の寝室及び浴室が老朽化していることから改修すること。また、駅事務室内のスペースの活用を職場の声を基に改善すること。
- (会 社) 現行、白岡駅の休養室及び浴室を改修する計画はない。なお、引続き状況を把握し、検討していく考えである。
- (組 合) 蓮田駅の助役寝室の冷暖房対策を充実させ、快適性を向上すること。
- (会 社) 現行の設備で対応可能であると考えている。なお、箇所の意見等については、引続き把握していく考えである。

- (組 合) 蓮田駅社員の安全性向上のため、改札の防犯カメラの増設をすること。また、設置済みのカメラにおいては位置や撮影範囲の調整を職場の声を基に実施すること。
- (会 社) 蓮田駅改札内には既に防犯カメラを設置しており、現行、増設の計画はない。なお、画角の調整については必要により検討していく考えである。
- (組 合) 東大宮駅休憩室において決められた喫煙スペースがなく、換気扇の下で喫煙をしていることから、これまで行ってきた対策を明らかにすること。また、受動喫煙防止の観点から休憩室の快適性向上のため分煙化対策をすること。
- (会 社) 東大宮駅での喫煙対策として、換気扇等が設置されており、現行の設備で対応可能であると考えている。

【大宮駅分会】

- (組 合) バリアフリーの環境整備や旅客の利便性向上の観点を含め、改札社員が案内に苦慮していることから北側通路にエレベーターを新設すること。
- (会 社) お客さまからのご意見等は把握しているが、大宮駅南側通路にエレベーターが設置されていることから、現行、北側通路にエレベーターを新設する計画はない。
- (組 合) 新幹線ホーム事務室の流し台とトイレの下水管が老朽化し、逆流する事象も発生していることから、改修すること。
- (会 社) 大宮駅新幹線ホーム事務室の流し台の詰まりについては異物が原因であり、設備の不具合等ではない。なお、引続き状況を把握していく考えである。
- (組 合) 出札裏の女性トイレのスペースが狭く、使いにくいことから改修すること。
- (会 社) 現行の出札裏女性トイレについては、構造上、拡張は困難であるが、引続き状況については把握していく考えである。

【北浦和駅分会】

- (組 合) 旅客から設置要望が多く、サービス向上の観点から北浦和駅西口にコインロッカーを設置すること。また、東口のコインロッカーをキャリーケースが入るサイズのロッカーに変更すること。
- (会 社) 北浦和駅のコインロッカーについては、東口に設置されているもので対応可能と考えており、現行、西口に設置する計画はない。なお、コインロッカーの仕様変更等の要望については、関係箇所伝えていく考えである。

【川口駅分会】

- (組 合) 配管から異臭がすることから出札裏のトイレ、女性用休憩室の洗面台を改修すること。また、浴室は環境アクセスによる定期清掃を実施すること。
- (会 社) 現行、出札裏トイレ、女性用休養室の洗面台・浴室を改修する計画はないが、女性専用エリア内については環境アクセス等による清掃を検討する考えである。なお、出札裏トイレについては修繕依頼を行っており、引続き状況については把握していく考えである。

【北朝霞駅分会】

- (組 合) 北朝霞駅の寢室の防音強化を職場の声を基に早急に実施すること。また、浴室の換気扇の機能が低下しカビが発生する原因になっていることから新品を設置すること。
- (会 社) 北朝霞駅は高架下駅という構造上の問題であるため、休養室の防音強化は困難であると考えているが、防音対策については、引続き箇所の意見等も把握しながら必要により検討していく考えである。また、浴室については、現行、改修する計画はないが、駅社員による清掃を実施したところである。

《運輸関係》

【宇都宮運転所分会】

- (組 合) 宇都宮運転所本館の宿泊環境改善と夏期空調使用時でも室温が 30 度を超過してしまうことから、内勤室を含めて空調を個別制御とすること。
- (会 社) 宇都宮運転所の空調については定期的に清掃等を行ない、機能維持に努めてきたところである。なお、設備の整備等については、今後も必要に応じて検討していく考えである。

【小金井運転区分会】

- (組 合) 本館の風呂の排水管から異臭がすることから対策を行うこと。
- (会 社) 風呂場の排水管から発生する異臭については、定期的な清掃と専門業者による薬剤処理を行っているところである。なお、対策については引続き調査をしていく考えである。
- (組 合) 洗面台のお湯が出なくなるため改善すること。また、3 階洗面台を利用しやすい環境を整えること。
- (会 社) 2 階洗面台設置の給湯器の湯量が限られており、改善については困難である。なお、引続き他の洗面台の使用も含めて周知をしていく考えである。

【宇都宮車掌区分会】

- (組 合) 乗務員が集中するため風呂の拡大と滑りやすい箇所の改善を行うこと。
- (会 社) 設備の整備等については、使用実態の調査を行うなど、今後も必要に応じて検討していく考えである。

- (組 合) 男子ロッカー室や寝室の床が老朽化し異音がするため改善を行うこと。
- (会 社) 床板に使用している木材が軋んでいるため、音が発生しているものと考えられる。なお、今後は必要な調査を行い対応していく考えである。

【大宮運転区分会・大宮車掌区分会共通】

- (組 合) 川越車両センターの乗務員宿泊所を新しく改良すること。なお、埃が多く体調不良の原因となることから、各部屋の清掃と集中制御空調内の清掃を行うこと。
- (会 社) 川越車両センターにおいて、乗務員休養室を改良等する計画はない。なお、寝室内の清掃については関係箇所と調整する考えである。

【大宮運転区分会】

- (組 合) 女性社員の増加に伴い大宮運転区本館に女性用トイレを設置すること。
- (会 社) 設備の増設等については、女性社員の配属状況等を総合的に勘案し、今後必要に応じて検討していく考えである。

【大宮車掌区分会】

- (組 合) 埼京線上り詰所を新設し拡大を行うこと。また、給湯設備がないため整備すること。
- (会 社) 大宮駅埼京線上り車掌用詰所については、女性トイレの増設や壁紙の交換等を実施してきたところであり、詰所の新設等を行う計画はない。なお、給湯設備については状況を調査のうえ、必要に応じて検討を行う考えである。

【さいたま運転区分会】

- (組 合) 待機する乗務員で混雑し十分な休憩をとることが出来ないため、南浦和駅南行詰所の拡大とトイレの増設を行うこと。
- (会 社) 現時点において、南浦和駅南行詰所の拡大やトイレの増設の計画はない。なお、設備の整備等については、今後必要に応じて検討していく考えである。

【さいたま車掌区分会】

- (組 合) 乗務員が集中し、待ちが発生していることから東所沢駅乗務員宿泊所にシャワールームを設置すること。
- (会 社) 東所沢駅乗務員宿泊所のシャワールームについては、引続き関係箇所へ要請していく考えである。
- (組 合) 旧浦和車掌区庁舎の女性用トイレを使用できるように整備すること。
- (会 社) 旧浦和車掌区庁舎内の女性用トイレについては、今後の整備計画に支障するため使用停止としているところである。なお、南浦和駅女性トイレを使用できるように手配してきたところである。

【小山車両センター分会・小山新幹線車両センター分会・川越車両センター分会・

さいたま車両センター分会・大宮総合車両センター支部共通】

- (組 合) 検修庫や設備などが老朽化していることから、部分修繕ではなく抜本的な改善を行うこと。
- (会 社) 設備の老朽化への対応については計画的に行っていく考えである。なお、設備の修繕方法等については関係箇所と調整を行い実施しているところであり、今後も必要に応じて検討していく考えである。

- (組 合) 作業者が暗いと感じているため庫内照度向上のためLED化すること。
- (会 社) 検修庫内の照度については、LEDの採用を含めて必要に応じて検討していく考えである。

【大宮総合車両センター支部】

- (組 合) 東大宮での屋根作業においてローンテックス使用時の環境が悪いため、換気装置を設置すること。また、651系ワイパー交換作業用足場を新設すること。
- (会 社) 作業実態や作業方法を確認し、必要に応じて検討していく考えである。

- (組 合) SL入場時の探傷用前処理や洗浄作業の作業場を設置すること。
- (会 社) 専用の作業場の設置については、用地の確保等が困難である。

《設備関係》

【共通】

- (組 合) 設備関係職場における業務用自動車の台数及びドライブレコーダー設置済み台数を明らかにすること。また、交通事故対策の観点から全ての車両について早急にドライブレコーダーを設置すること。
- (会 社) 業務用自動車の車両数は183台あり、うち127台はドライブレコーダーの設置が完了している。また全車両への設置に向けて、今後も計画的に実施していく考えである。

- (組 合) 大成現業事務所についてエレベーターが設置されていない理由及び大宮信号通信技術センター事務所に設置されている理由を明らかにすること。また、大成現業事務所は今後も使用していく事務所であり、バリアフリーの観点を踏まえ、エレベーターの設置に向けて検討すること。
- (会 社) 法令上、5階建ての建築物までは設置義務はない。大宮信号通信技術センター事務所には4階に機器室があることにより人荷用リフトとして設置してある。現時点において、大成現業事務所にエレベーターを設置する計画はないが、必要な設備環境は検討していく考えである。

【小山保線技術センター分会】

(組 合) 浴室改修の実施計画を示すこと。また、休養室の改修計画と考え方を明らかにすること。

(会 社) 浴室の改修については次年度に実施していく方向である。休養室の改修については現在改修内容を検討しているところであり、優先順位を踏まえ実施していく考えである。

【宇都宮保線技術センター分会・宇都宮信号連合 MC 分会・

那須保線技術センター分会・那須電力連合 MC 分会】

(組 合) 宇都宮現業関係については、自動車庫に鳩が入り込んで汚損させていることから必要な対策を実施すること。また、那須現業関係では自動車駐車箇所について、鳩の糞による汚損が著しいことから早急に対策を行うこと。

(会 社) 宇都宮現業及び那須現業事務所の鳩による自動車の汚損については、現地を確認して必要な対策を講じていく考えである。

【宇都宮信号連合 MC 分会】

(組 合) 新幹線グループの休憩室をフロア内に確保すること。また、夜間作業の際に休憩室の数が不足することから対策を講じること。

(会 社) 宇都宮新幹線メンテナンスセンターの現状を確認のうえ、必要により検討していく考えである。また、現休憩室については他箇所を含めた使用実績を踏まえ、調整するなど検討していく考えである。

【那須保線技術センター分会】

(組 合) 維持管理設備の観点から浴室及び食堂の換気扇の修繕を行うこと。

(会 社) 現地を確認のうえ、維持管理設備として修繕していく考えである。

【宇都宮新幹線保線技術センター分会】

(組 合) 浴室が国鉄時代のものから、改善を図ること。特に浴槽について早期の改善を図ること。

(会 社) 浴室床の破損箇所については修繕してきたところであり、今後も優先順位を踏まえ改善していく考えである。

【宇都宮電力連合 MC 分会】

(組 合) 小山デポのシャワー室を使用できるよう改善を図ること。

(会 社) 現地を確認のうえ、維持管理設備として改善していく考えである。

【大宮保線技術センター分会】

(組 合) 事務室の空調機が老朽化しており、乾燥の原因になっていること及び音がひどいことから取替えを行うこと。

(会 社) 乾燥対策については加湿器を増配置してきたところである。空調設備の老朽取替えについても計画的に実施していく考えである。

【大宮土木技術センター分会】

- (組 合) 安全衛生委員会での議論をもとに、業務用雨具や濡れた衣類を乾かせるような職場環境を構築すること。
- (会 社) 除湿器を設置するなど、職場の意見を踏まえながら必要により検討していく考えである。

【大宮建築技術センター分会】

- (組 合) 掃除機や洗濯機の交換、電子レンジの台数増など、必要な少額備品への対応を行うこと。
- (会 社) 必要な備品については現場長から関係箇所へ要求し、その都度対応していくこととなる。

【大宮機械技術センター分会】

- (組 合) デポの位置付けを明らかにすること。また、機械技術センターの小山デポ及び宇都宮デポの畳を張替え、十分な休養が確保できる環境を整えること。
- (会 社) 設備関係のデポについては、現地出退勤や輸送障害対応による待機、休憩ができる箇所として指定している。大宮機械技術センターのデポについて、現地を確認のうえ、維持管理設備として改善していく考えである。

【大宮電力技術センター分会】

- (組 合) 技術センターの洋式トイレ数が少ないことから、安全衛生委員会での議論をもとに3階または4階の和式トイレを早急に洋式化すること。
- (会 社) 現地を確認のうえ、職場の意見を踏まえながら必要により検討していく考えである。

【大宮信号通信技術センター分会】

- (組 合) 新古河 SCH 及び新片岡 SCH のトイレについて、作業効率向上の観点から水洗化すること。
- (会 社) 現在のところ水洗化する考えはないが、下水道の行政整備計画等の周辺環境を確認し、必要により検討していく考えである。

【大宮新幹線電力技術センター分会】

- (組 合) 技術センター事務室の拡充計画と考え方を示すこと。また、久喜デポについては新幹線・在来線ともに使用することから2階トイレを洋式化すること。
- (会 社) 事務室の拡充については、更衣室の移設等検討しているところである。また、久喜デポのトイレについては現地を確認しながら必要により検討していく考えである。

【大宮新幹線保線技術センター分会】

(組 合) 浴室の改修計画と考え方を示すこと。

(会 社) 浴室床の破損箇所については修繕してきたところである。また、浴室の改修については現在、他箇所との調整を行っており、今後計画的に実施していく考えである。

【蕨保線技術センター分会】

(組 合) 乾燥機電源の容量を増大すること。また、電源開閉器がトリップした際に容易に復旧できるように開閉器の位置を変更すること。

(会 社) 現地を確認のうえ、維持管理設備として改修していく考えである。

《大宮支社支部》

(組 合) 支社の社員数が増加していることから執務室や会議室・打合せスペースなどを確保するため、書庫の整理やレイアウトを変更すること。

(会 社) 今後も支社内各フロアのレイアウト変更等を検討し、打合せ場所の確保等、必要な環境整備を行っていく考えである。

(組 合) 冬季における乾燥対策のため、加湿器を増設し、快適な環境をつくること。

(会 社) これまでも加湿器を増配置してきたところであるが、今後も必要な環境整備を行っていく考えである。

(組 合) 災害や輸送混乱等の対応が個々にかたよらない体制を構築するとともに、夜間異常時に対応することがあることから、休養や仮眠ができるスペースを確保し、社員が自由に使用できるよう使用方法について周知すること。

(会 社) 災害等の対応時においても、時間外労働がかたよらないよう対応している。なお、やむを得ず帰宅ができない場合等については健康プラザに休養室や簡易ベッドを確保しており、災害時等に便宜的に利用している。

(組 合) 実施後に問題点が発生した時は速やかに改善に向けて取り組むこと。

(会 社) 問題は生じないと考えているが、具体的に提起があれば「労使間の取扱いに関する協約（平成27年10月1日締結）」に則り取り扱っていく。